

ダイバーシティ事業 国際人事交流プログラム（招聘）
授業・セミナー開催報告書①

報告日：2019年2月7日

招聘者氏名	濱田 麻矢・藤田 裕嗣
被招聘者氏名	張 修慎
被招聘者 所属機関・職位	中華民国・静宜大学・教授
日時	2019年1月28日 17:00～18:30
場所	人文学研究科 A棟221教室（共同談話室）
参加者	全員9名（うち女性学生1名、女性院生1名）
授業・セミナーの内容	
<p>2019年1月28日17時より張教授による講演会を開催した。講演題目は『桃山歴史・地理』47号（2012年）に日本語で発表された論文の表題に倣い、「戦時下台湾における『郷土意識』と柳宗悦の『民芸思想』」である。具体的には、副題にあるように、「雑誌『民俗台湾』と『月刊民芸・民芸』との比較」を焦点とされている。柳宗悦（1889～1961）は、宗教哲学者、思想家、美学者、文学者そして何よりも「民芸運動の父」であり、戦時下では日本の「植民地」ともされた台湾の文学や民俗（学）などに見える「郷土意識」について、彼との関係で問題にされた。柳の運動を陶芸で支えたのは、バーナード・リーチ以外に、日本人では濱田庄司が代表的、と言える。彼の孫に当たる濱田琢司・南山大学教授の文化地理学の立場からのコメントや女性院生からの質問など、活発な討論が行われた。</p>	

ダイバーシティ事業 国際人事交流プログラム（招聘）
授業・セミナー開催報告書②

報告日：2019年2月25日

招聘者氏名	濱田 麻矢・藤田 裕嗣
被招聘者氏名	李 光貞
被招聘者 所属機関・職位	中華人民共和国・山東師範大学・教授
日時	2019年2月18日 16:00～17:50
場所	人文学研究科 A棟122教室（学生ホール）
参加者	全員15名（うち女性教員4名、女性学生1名、女性院生4名）
授業・セミナーの内容	
<p>2019年2月18日16時より、男女共同参画推進室と人文学研究科（海洋都市研究全ター）との共催で、李教授に講演会を開催した。講演題目は、「日本近代文学における山東の記憶—『武装せる市街』・『台児荘』・『真昼の情熱』を中心として」である。講演では、黒島伝治『武装せる市街』は反戦小説、棟田博『分隊長の手記』は戦争小説、大田洋子『真昼の情熱』は恋愛小説と結論付けられた。三人の作家とも中国、とりわけ山東省に来たことがあり、『武装せる市街』と『分隊長の手記』も自由に読めない時代があったが、現在、『武装せる市街』も『台児荘』も自由に読める。山東省の歴史や文化、風土、生活（習慣）、人々の暮らしをよく知る者（中国人研究者）が、作品の舞台となった山東省（済南や青島、その他各地）とその作品のテーマや内容がいかなる関係にあるのかを考察することは、日本近代文学研究者の中で、日本人研究者や中国の数少ない研究者がこれまで行ってきた研究とは違った側面を提示できたであろう。そして、そこに本研究の意義もあると確信している、と李教授は最後にまとめられた。</p> <p>講演の後、本学女性教員や女子学生との間でコメントや質疑応答など意見交換がなされた。</p>	